

## 第 23 回 上サロベツ自然再生協議会 再生技術部会 議事概要

日 時：平成 30 年 6 月 16 日(土) 13:30~15:10

場 所：豊富町定住支援センター「ふらっと★きた」多目的ホール

出席者：37 名(個人 11 名、団体・機関 14 名、事務局 12 名)

傍聴者：20 名(一般 19 名、報道関係 1 名)

### 1. 開 会

### 2. 議 事

#### 1) 農業と湿原の再生に向けた自然再生実施計画書(緩衝帯・沈砂池)に関する報告について

##### 【北海道開発局稚内開発建設部から報告】

##### ①緩衝帯・沈砂池のモニタリングについて

(会 員) 緩衝帯の設置により湿原側の水位が維持・上昇しているとのことだが、昔の水位状況は如何。

(座 長) データのない古い時代の水位状況は不明。緩衝帯設置により、湿原本来の水位に近づいてきていると認識。

(会 員) 緩衝帯の農地側(新排水路)では土砂堆積の影響は無いのか。

(開発局) 新排水路の流末に沈砂池を設けており、そこで土砂捕捉していることから、更なる下流側に対して影響を軽減している。

(座 長) 緩衝帯・沈砂池についてはモニタリングを継続しており、設置効果が確認されているところ。

事業完了後は、地元関係者がモニタリングと維持管理を引き継ぐことになるためこれまでのモニタリング結果も考慮し、負担のない簡易な方法を検討されたい。

(開発局) 十分検討しながら地元関係者と協議を行う。

#### 2) 上サロベツ自然再生実施計画書に関する報告について

##### 【環境省北海道地方環境事務所から報告】

##### ②丸山周辺のササ対策について

(傍聴者・許可を得た上で発言) ササの拡大防止のために湿原内に溝を掘るという形状変更を行うとのことだが、方法としての妥当性に疑問。

過去の協議会において了解を得た方法とのことだが、当時の議事録について確認願う。

(座 長) 再生技術部会として検討してきたことであり、過去 2 年間、経過報告されている。

現在は試験施工の段階であり、推移を見ながら今後の展開を検討するものと理解している。

(環境省) 溝の造成によるササ侵入の抑止効果については、今後の再生技術部会及び協議会へ報告し議論していただく。その結果に基づき、対策としての適否を判断する。

(会 員) 造成した溝に、泥炭域外の水が混入した場合、ササ拡大を助長すると思われる。旧河川跡などが、溝の造成地に繋がっていないか、確認されたい。

(環境省) 溝については、水の流入・流出による湿原への影響が懸念されることから、複数のプールに分散させた。

プールの水位や周辺湿原部の地下水位のモニタリングを継続するので、変化の有無を確認する。

### ③原生花園園地跡地における湿原植生の回復

(会 員) 旧ビクターセンター周辺にヨシが多いのは、旧駐車場の土砂の撤去不足に原因があると思われるが、認識は如何。

(座 長) 植生の推移を観測してきて、泥炭の撒きだしが効果的とわかってきたところだが、水深が深い場合などにヨシが繁茂すると認識。

今後は、泥炭の撒きだしを主体に考えていく予定か。

(環境省) 植物調査・水文水質調査の結果を踏まえ、今後の対策を検討する予定である。

### ④泥炭採掘跡地の再生

(会 員) 湖沼群の上流域に畑地があると、高濃度の栄養分が地下水として流入してくる。サロベツ湿原センター周辺のハンノキ林拡大との関連性は如何。

(座 長) ハンノキ林拡大の有無について、その要因とともに再生技術部会として注視したい。

調査の実施について、環境省で検討願いたい。

(会 員) 植生調査の基礎資料として、過去の航空写真や衛星写真の有無について調べるなど、協力したい。

### ⑤上サロベツ自然再生実施計画書(案)

(傍聴者・許可を得た上で発言) 赤字記載箇所が変更点とのことだが、修正かあるいは新規追加なのかがわかる資料が必要と考える。

(座 長) 変更内容について、記録として残すことが重要であるため、新旧対照表の作成など対応されたい。

## 3) 稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書に関する報告について

### 【林野庁北海道森林管理局から報告】

#### ①平成 29 年度の実施状況

(会 員) エゾシカ食害箇所の更新状況は、立ち枯れ箇所の更新状況と同様と判断可能か。

(林野庁) エゾシカ食害箇所については、今後実施予定のルート調査の中で確認していく。

(会 員) 上サロベツの湖沼はケイ酸イオンが少なくプランクトンが少ないなど、世界に

誇れるものなので、広く知らしめて欲しい。

(林野庁) 次年度に水質調査を実施する予定である。その分析結果により検討できればと考える。

(座 長) エゾシカ食害対策を、今後、どのように考えているか。

(林野庁) 今年度はプロット3箇所のみ結果である。来年度はルート調査を追加実施し、状況を把握した中で今後の対策の必要性等について判断したい。

#### 4) 平成 29 年度 行事報告について【事務局から報告】

(座 長) 近年、再生技術部会は年 1 回の開催状況だが、必要に応じて複数回開催することもぜひ検討されたい。

### 3. 閉 会